

広島連塾 Sus☆テラス 2012 年度事業報告書

設立初年度となった 2012 年度は、会のミッション（“広島県内で『脱温暖化』や『食とエネルギーの地産地消』を『まちづくり（地域活性化）』の視点から考え、行動する市民団体のネットワークと協働の場とし、【持続可能で、次世代の希望があふれる地域（Hiroshima for Sustainability）】とすること”と）と、活動内容（“Hiroshima for Sustainability づくりプロジェクト、サスメディアプロジェクト、成功事例創出&波及プロジェクト”）を決定し、決定した各プロジェクトを実行した。

詳細は次のとおりである。

1. 世話人会議等の開催

会の活動内容等を定めるとともに、その進捗状況や課題を確認するために、開催した。各回の世話人会議等の主な議題と概要は、次のとおりである。

- 設立発起人会議（第 1 回世話人会議）（4/21）
 - （主な議題）・発起人のニーズ&シーズの抽出
（マーケティング・ポテンシャル分析）
 - ・設置要綱の決定、役員を選出
 - （概要）・会のビジョン等の作成に向け、各発起人のニーズとシーズを確認した。
 - ・設置要綱を決定するとともに、代表、副代表、事務局長、監事を選出した。
（代表：安藤志保（三原）、副代表：落合真弓（福山）、薦田直紀（広島・世羅）、
事務局長：大西康史（広島）、監事：那波邦彦（東広島）、青山範子（呉））
- 世話人会議（設立発起人会議を除き、全 8 回）
 - 【第 2 回（5/12）】
 - （主な議題）・会の SWOT 分析
 - （概要）・会のビジョン等の作成に向け、SWOT 分析（※）を行った。
※SWOT 分析とは…組織等の「強み（Strengths）」「弱み（Weaknesses）」
「機会（追い風）（Opportunities）」「脅威（向かい風）（Threats）」を
明らかにするもの。
 - 【第 3 回（5/27）】
 - （主な議題）・会のビジョンの検討
 - （概要）・事務局案をたたき台として、会のビジョンを検討した。
 - 【ビジョン等検討ワーキンググループ会議（6/4）】
 - （主な議題）・会のビジョン案、活動内容案の決定
 - （概要）・会の活動内容を、「Hiroshima for Sustainability づくりプロジェクト」「サスメディアプロジェクト」「成功事例創出&波及プロジェクト」の 3 つのプロジェクトとして世話人会議に提案することを決定した。

【第4回 (6/22)】

(主な議題) ・会のビジョン、活動内容の決定

・当面の活動内容の決定

(概要) ・会の活動内容として、「Hiroshima for Sustainability づくりプロジェクト」
「サスメディアプロジェクト」「成功事例創出&波及プロジェクト」を行う
ことを承認した。

・まず実施する活動として、国民的議論に関するワークショップ（第1回エネカフェひろしま）を行うことを決定した。

【第5回 (7/8)】

(主な議題) ・リーフレットの完成

・国民的議論に関するワークショップ（第1回エネカフェひろしま）の
詳細決定

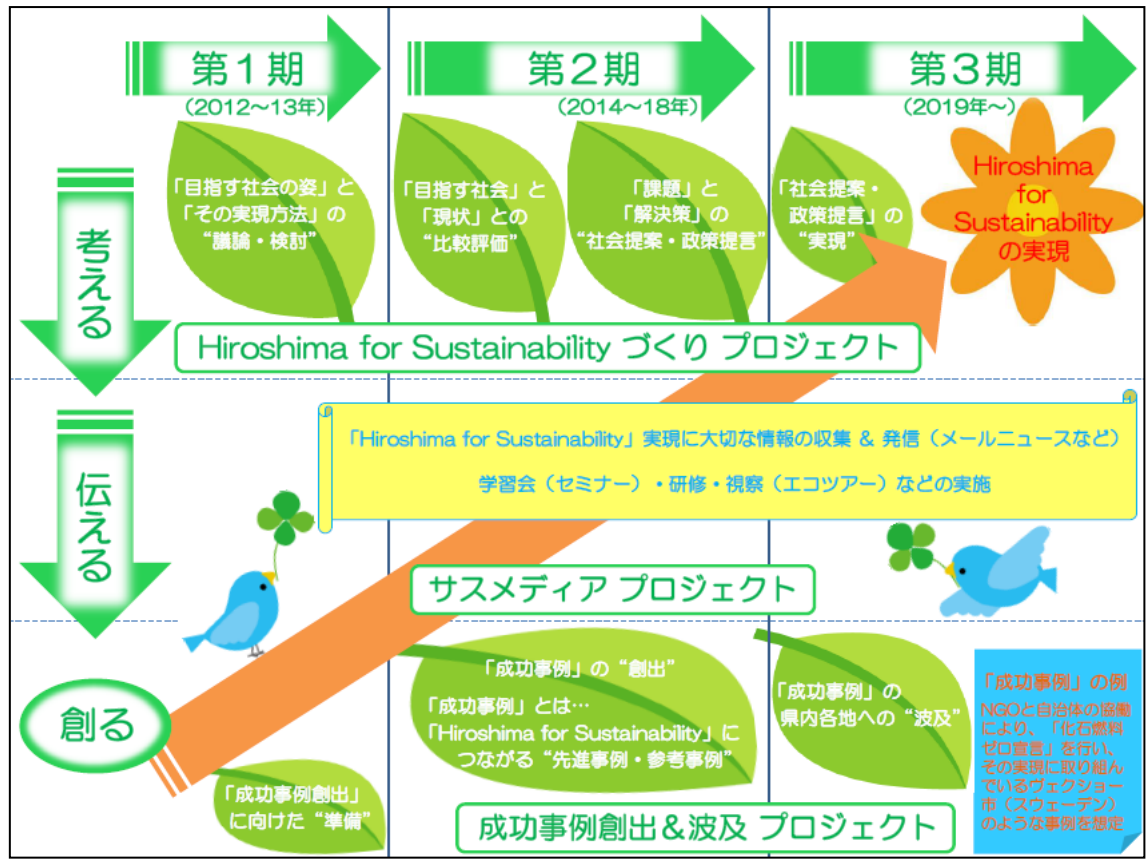
(概要) ・リーフレット案に対する意見を確認した

（意見を踏まえ、7/27にリーフレット完成）。

・国民的議論に関するワークショップ（第1回エネカフェひろしま）の内容と
広報手段を決定した。

<p>【設立の経緯】</p> <p>2011.10.14 「みんなのエネルギー・環境会議 広島」実行委員会 設立（県内各地のNGO（市民団体）と個人に呼び掛け設立）</p>  <p>↓</p> <p>2012.1.29 「みんなのエネルギー・環境会議 広島」開催 （これからのエネルギーや暮らしのあり方について、 広島に住む市民が考え、話し合う場として開催）</p>  <p>↓</p> <p>2012.3.3 「みんなのエネルギー・環境会議 広島」 シェアリングイベント開催 （「みんなのエネルギー・環境会議 広島」で感じたこと を共有し、今後へつなげることを目的として開催）</p>  <p>↓</p> <p>2012.4.22 「広島連勢Sus☆テラス（任意団体）」設立 （「みんなのエネルギー・環境会議 広島」開催のために 集まったNGO（市民団体）と個人により設立）</p>	<p>～ Message ～</p> <p>代表 安藤 志保 （ネットワーク『みどりのほらっば』代表）</p>  <p>地球規模で限られた資源を競い合い お金に替えてきたこれまで、地 域にある資源を分ち合い大切に する暮らしへのシフトを広島から。</p> <p>副代表 落合 真弓 （ごみ5R推進本番 代表）</p>  <p>イマジン、あなたが望む未来を語り 合い、より具体的にまちのビジョン を描き、ワクワクドキドキする場を 一緒に創っていきましょう。</p> <p>副代表 藤田 直紀 （環境カウンセラー）</p>  <p>思いのこもりすぎた組織名の発案者とし て、「Sustainability」が、広く市民権を 得られるように、主体的に関わります。 最近のお気に入りの言葉は「知足（足る を知る）」、地に足をつけて…</p> <p>事務局長 大西 康史 （未来の子 共同代表）</p>  <p>皆様とともに、 本気で社会を変えたいと思います！ ぜひ、一緒にしましょう！</p> <p>（連絡先） 〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル6F TEL/FAX：082-231-6965 E-mail：sus_terrace@yahoo.co.jp</p> <p>【ホームページ】 http://sus-terrace.jimdo.com/</p>	<p><Ver.2012.7></p> <p>Hiroshima for Sustainability 広島連勢Sus☆テラス</p> <p>目指すもの</p> <p>広島県内で「脱温暖化」や「食とエネルギー の地産地消」を「まちづくり（地域活性化）」 の視点から考え、活動する市民団体の ネットワークと協働の場とし、 広島を【持続可能で、次世代の継承が図られ る地域（Hiroshima for Sustainability）】 とすることをめざす。</p> <p>（名称の由来） Sus☆テラスは「Sustainability」実現に思いを寄せる同志の 「気軽に踏み入れることができる場」、 連勢は江戸時代後期の高名な俳諧者・詩人の菅茶山（雄山市神 辺）が創った庵塾にちなんで命名、「水は万円の器に似て人は 善悪の友による」ということわざを表した「万円の手水鉢」 （庵塾に依存）にあやからうというもの。</p> <p>【当会の特徴】</p> <p>多くのNGO（市民団体）と個人が参加しています。</p> <p>つまり、 「Hiroshima for Sustainability」実現のために、 つながった人脈、専門性、経歴、情報網… そして、 “本気の思い”があります。</p> <p>これにより、 「社会的影響力（社会を変える力）」のある 活動を実施・展開・実現していきます！</p>
--	---	---

（リーフレット<Ver.2012.7>表面）



(リーフレット<Ver.2012.7>裏面)

【第6回 (9/6)】

- (主な議題)・再生可能エネルギー普及事業の検討 (成功事例創出&波及プロジェクト)
- ・第3回エネカフェひろしまの検討 (サスメディアプロジェクト)
 - ・第1回エコツアーの検討 (サスメディアプロジェクト)
 - ・環境 NGO・NPO レベルアップ研修の検討 (サスメディアプロジェクト)

(概要)・再生可能エネルギー普及事業は、当会と別の事業主体により実施するものの、成功事例創出&波及プロジェクトと連携させて進めていくことを決定した。

- ・原亮弘氏 (おひさま進歩エネルギー株) を招き、第3回エネカフェひろしま (ミニエネカフェ) を行うことを決定した。
- ・県内のサステナビリティを目指す暮らしの実践事例を学ぶことを目的とする、第1回エコツアーを開催することを決定した。
- ・環境 NGO・NPO レベルアップ研修の開催に協力することを決定した。

【第7回 (12/5)】

- (主な議題)・第4回エネカフェひろしまの検討 (サスメディアプロジェクト)
- ・第2回エコツアーの検討 (サスメディアプロジェクト)
 - ・FM はつかいち出演諾否の検討 (サスメディアプロジェクト)

- ・再生可能エネルギー普及事業との連携内容の確認

(成功事例創出&波及プロジェクト)

- (概要)・第4回エネカフェひろしまとして、広島大学と連携したシンポジウム(テーマ:地域のエネルギー自立を目指して)を行うことを決定した。(ただし、その後、広島大学から、エネカフェひろしまと位置付けることは外して欲しいとの要望があったため、エネカフェひろしまとは位置付けずに実施した。)
- ・第2回エコツアーを春以降(時期・詳細未定)に実施することを決定した。
 - ・FMはつかいち出演の可否は、求められる出演頻度等を踏まえて決めることを決定した。(その後の調整の結果、月1回の頻度で出演することを決定した。)
 - ・再生可能エネルギー普及事業(会とは別の事業主体により実施)に対して、広報や啓発等で連携していくことを決定した。

【第8回(1/22)】

(主な議題)・広大企画シンポジウムへの関わりの検討(サスメディアプロジェクト)

- ・2012年度の事業報告・決算報告
- ・2013年度の事業検討・助成金申請の検討

(概要)・広大企画シンポジウムについて、登壇と広報協力を行うことを決定した。

- ・2012年度決算には、事務局経費(通信費、交通費)を組み込むことを決定した。
- ・2013年度事業は、セミナー、エコツアー、サスメディア等とすることとし、その必要経費は助成金や参加費等で賄うことを決定した。

【第9回(3/22)】

(主な議題)・2012年度の事業・決算報告(再度)

- ・地域再生可能エネルギー事業実施主体としての、一般社団法人立上げ報告(成功事例創出&波及プロジェクト関連)

(概要)・2012年度決算は、事業報告を添付して行うこと、事業収支の赤字分は、任意の寄付金で補填すること、任意の志捐金により事務局謝金を捻出することを決定した。

- ・地域再生可能エネルギー普及事業の実施主体として立ち上げる事業主体(会とは別に立ち上げるもの)は、一般社団法人とすることを共有した。

2. Hiroshima for Sustainability づくりプロジェクト

Hiroshima for Sustainability づくりプロジェクトについては、2012年度の進展はなかった。

3. サスメディアプロジェクト

サスメディアプロジェクトとしては、広報の他、エネカフェひろしま、エコツアー、各

種セミナー等を実施した。

概要は次のとおりである。

○ エネカフェひろしま

【第1回 (7/28)】

政府国家戦略室からの説明員 (3名) と、安藤忠男広島大学名誉教授、武本洋一備前グリーンエネルギー㈱代表取締役社長を招き、事務局長大西のコーディネートの下、「エネルギー・環境に関する選択肢」について、意見交換を行った。(参加者 32名)

【第2回 (8/25)】

小林久茨城大学農学部教授、沖武宏イーモル工業㈱顧問、小田政治広島県農業協同組合中央会常務理事を招き、事務局長大西のコーディネートの下、「小水力発電の課題と可能性」について、意見交換を行った。(参加者 41名)

【第3回 (10/19)】

原亮弘おひさま進歩エネルギー㈱代表取締役社長を招き、「長野県飯田市での市民出資による再生可能エネルギー普及事例」について、意見交換を行った。(参加者 10数名)



第1回エネカフェひろしま
(テーマ：エネルギー・環境に関する選択肢)



第2回エネカフェひろしま
(テーマ：小水力発電)

エネルギー政策について
政府の担当者招いて市民
が議論するイベント「エネ
カフェひろしま」が28日午
後1時半から、広島市中区
八丁堀の環境省中国環境パ
ートナーシップオフィスで
ある。

エネルギー・環境政策に
関する政府の意見聴取会が
29日に広島市中区で開かれるの
に先立ち、環境関連の市民
団体のネットワーク組織
「広島連塾Sus☆テラス
(中区)」が企画した。

政府担当者とのエネ政策議論
あす広島 聴取会前にイベント

政府が8月12日まで募る
パブリックコメント(意見
公募)を提出する際の参考
にしようとする。203
0年の原発比率で政府が示
した「0%」「15%」「20%
25%」の3案を軸に、内閣官
房国家戦略室の担当者から
説明を受けた後、参加者一
人一人が意見を発表する。
広島連塾Sus☆テラス
は参加者を募集している。
定員30人。無料。大西康史
事務局長 ☎090(403
5)9794。(加納亜弥)

(7月27日中国新聞記事)

原発存廃めぐり議論 中区で市民団体企画

国のエネルギー政策(%)を説明。「原発依存度の政府の意見聴取会が
存度をとこまて、どん
なスピードで下げるべ
るのを前に、環境関連
の市民団体「広島連塾
Sus☆テラス」が企
画した。
(東海石佐衛門直柄)

国に招いて市民が議論
する「エネカフェひろ
しま」が28日、広島市
中区であった。原発の
存廃をめぐる約30人が
参加した。

館祭 ☎29718234
会葬「ワベルホール

意見を交わした。
環境省低炭素社会推
進室の土居健太郎室長
が、政府が示した20
30年の原発比率3案
(0%、15%、20%、25%)
の声をあげた。

脱原発しかない「原
発の増設は考えられな
い」などの意見が上が
った。一方で、「(太
陽光や風力など)再生
可能エネルギーを大き
く増やすのは困難」な
どの声もあった。

(7月29日中国新聞記事)

○ エコツアー (11/20)

「桜の山農場 (三原市)」、「農事組合法人たさか／伊尾・小谷たえクラブ (世羅町)」、「グローイングピース (府中市)」を訪問し、Sustainability を目指す暮らしの実践事例を学んだ。(ひろしま地球環境フォーラム地域環境取組支援事業) (参加者 20 名)



○ その他セミナー講師等

【広島市地球温暖化対策地域協議会 eco ちゃり WG 主催フォーラム (7/8)】

「自転車のまちづくりを eco の視点から考える市民フォーラム」に登壇した。(登壇者：大西) (参加者約 70 名)

【第 3 回みんなのエネルギー・環境会議 (8/5)】

セッション 3 (国民的議論と政策への反映について)に登壇した。(登壇者：落合)

【気候ネットワーク主催シンポジウム 市民が進める温暖化防止 2012 (11/4)】

分科会 1 (市民が進める低炭素地域づくり)に登壇した。(登壇者：薦田)

【ひろしま NPO センター設立 15 周年記念フォーラム (11/25)】

セッション 2 (環境保全・エネルギー)の分科会に登壇した。(登壇者：安藤)

【環境省中国環境パートナーシップオフィス主催セミナー (12/16)】

「持続可能なエネルギー社会に向けた中国地域ミーティング～NPO 基盤強化・協働促進・ネットワークづくり～」に登壇した。(登壇者：大西)

【広大総合科学研究科資源エネルギー研究プロジェクト主催シンポジウム (2/24)】

「地域のエネルギー自立を目指して」をテーマとするシンポジウムに登壇した。また、このシンポジウムの広報協力を行った。(登壇者：大西) (参加者 35 名)

もっともっと自転車に乗ろうよ!
自転車のまちづくりを Eco の視点から考える市民フォーラム
日時: 平成24年2月24日(日) 14時～16時30分
会場: 広島市環境局環境政策課2階エコチャリワークショップ
定員: 100名(参加費無料)

持続可能なエネルギー社会に向けた 中国地域ミーティング
～NPO基盤強化・協働促進・ネットワークづくり～
日時: 平成24年12月16日(日) 10:00～15:00
会場: 広島県広島市中央区入道16-11 日本生命広島ビル2階
定員: 20名(先着順) 参加費: 無料

地域のエネルギー自立を目指して
日時: 2013年2月24日(日) 13:00～16:30
場所: 中国新聞ビル7階702会議室
定員: 60名(申込み先着順) 参加費: 無料

- 平成 24 年度中国ブロック環境 NGO・NPO レベルアップ研修 (10/20、21、27、28) (独)環境再生保全機構地球環境基金主催、環境市民企画・運営のこの研修のグループファシリテーター等を担当した。また、この研修の広報協力を行った。(グループファシリテーター：安藤、大西、受付：松生)。(参加者 26 名)
- 食と農の映画祭 2012 in ひろしま (10/27～11/2)
この映画祭の主催者(食と農の映画祭 2012 in ひろしま実行委員会)に参画し、広報協力等を行った。

- 広報
会の Web サイトを開設し、各種情報を発信するとともに、各メディアに出演した。
【Web サイトの開設・ブログの更新】
Web サイト (<http://sus-terrace.jimdo.com/>) を開設 (7/21) するとともに、適宜更新し情報を発信した。ブログ (広島発サステナビリティ情報) も適宜、更新した。

かつてない高齢化や財政難、東日本大震災の衝撃に直面し、暮らしの足元がぐらついている。政権交代から3年余り、消費税の増税も打ち出される中、12月4日に公示される衆院選で争点となる課題は何か。高齢者や子育て支援、環境問題などに取り組む中国地方の現場で聞いた。

広島連塾Sus☆テラス事務局長
大西康史さん(34)
=広島市中区



太陽光発電パネルのショールームで「再生可能エネルギーの普及を進めたい」と話す大西さん(広島市西区)

電力選べる仕組み必要

10月から計3週間、長野県飯田市の企業「おひさま進歩エネルギー」で学んできた。市民から出資を募って公共施設などに太陽光発電パネルを設置し、売電収入から配当金を払う。「同じような仕組みを広島でつくりたい。再生可能エネルギーの普及を後押しする政策を」と期待する。環境担当の技術職員として9年勤めた広島県庁を今年3月に退職。4月に県内の環境非政府組織(NGO)など16団体と個人でつくるネットワーク「広島連塾Sus☆」を立ち上げた。太陽光など再生可能エネルギーを導入するには、大きな初期投資が必要だ。今年7月から始まった、再生可能エネルギーを生み出す地域自然が生み出すエネルギーを、私たちにも分かるように示してほしいと力を込める。とりわけ、太陽光や風力など再生可能エネルギーが原発の代わりになる。電力を生かさないといけない」と自戒する。自身、今は自宅にエアコンを置く

現場発「12」が争点

エネルギー

大根、白菜、ホウレンソウ、水菜。呉市焼山地区で「ゆうきの里の会」が運営する市民農園は、家庭の生みでつくった堆肥で有機野菜を育てている。「おいしいんです。野菜本来の甘味がある」。12月4日に公示される衆院選で争点となる課題は何か。高齢者や子育て支援、環境問題などに取り組む中国地方の現場で聞いた。

脱原発 具体的な道筋を

この10社がほぼ独占している家庭向けの電力小売りを全面自由化する方針を示し、発送電を分離する案を示した。に頼りたくないと思っても、原発によらない電力だけを買うことができない」と指摘。「原発をつくった電力を売らなければならない」というのが、市民が選べるようにすべきという。選挙戦では電力市場の自由化、発電部門と送電部門を切り離す「発送電分離」など電力改革についての議論の深まりも望んでいる。(平井敦子)

わが家の... 電力改革... 電力の供給体制や経営形態などを抜本的に見直す取り組み。経済産業省の専門委員会は7月、地域エネルギーで発電した電力の全量を電力会社が買い取る制度は、初期投資を支える役割がある。「今後も適正な価格を設定し、普及を促してほしい」と強調している。地域自然が生み出すエネルギーを活用するのだから、住民の意見が反映できるように任民が事業に関わることを促す法整備もするべきだ」とも。(平井敦子)

4. 成功事例創出&波及プロジェクト

成功事例創出&波及プロジェクトとしては、成功事例創出につながりうる取組として、世羅町での中間評価業務やおひさま進歩エネルギー(株)への現地研修等を行った。

概要は次のとおりである。

○ 脱温暖化せらのまちづくりプラン中間評価業務

この業務を脱温暖化プロジェクトせら（世羅町地球温暖化対策地域協議会）から受託し、脱温暖化せらまちづくりプラン進捗状況の分析やリーダー研修（全4回）等を担当した。また、第3回脱温暖化せらのまちづくりフォーラムやせら・里山笑コフエスタ in 夢公園等の開催に関わった。



○ おひさま進歩エネルギー(株)現地研修（10/22～26、11/3～18）

おひさま進歩エネルギー(株)において、市民出資による再生可能エネルギー普及事業等の仕組みについて学んだ。（現地研修受講者：大西）



○ 国際協同組合年ひろしま第2分科会連携事業

国際協同組合年ひろしま第2分科会（会長：佐々木、委員：薦田）と、地域におけるエネルギー自給の実現を目指して連携していくことを合意した。

○ 協同総合研究所共同研究事業

協同総合研究所と、再生可能エネルギー需給区連携による「もたせ型」分散エネルギーシステムの開発について共同研究していくことを合意した。

5. その他

会の活動に資する取組として、情報収集や関係団体との連絡調整、助成金申請等を行った。概要は次のとおりである。

○ 情報収集、調査・研究等に関わる事業

各種会議やセミナー等へ参加し、情報収集や会の PR、協力関係の構築等を行った。

(主な会議・研修等) 北欧視察研修及び同報告会等

地域自然エネルギープッチ会議

梶原町エコツアー

環境省伝え手のための連続 WS

再生可能エネルギー塾

コミュニティ・パワー会議

ちゅうごく再生可能エネルギー推進ネットワークセミナー等



○ ネットワークの維持・構築等に関わる事業

県内各所(広島・呉・三原・福山)におけるネットワーク団体等の事業へ参加した。

(参加した団体) 熱帯森林保護団体ひろしま

京橋川かいわいあしがるクラブ

くれ環境市民の会

三原やっさ祭りゴミへらし隊エコレンジャー委員会

ごみ 5R 推進本舗 等

○ 助成金申請

各種助成金の申請を行った。

(申請先) ひろしま地球環境フォーラム地域環境取組支援事業: 採択

RCC エコロジーファンド: 実績不足により不採択

日立環境財団: 2013年4月初旬頃に結果発表予定

地球環境基金: 2013年4月中旬頃に結果発表予定

セブンイレブン記念財団: 2013年4月中旬頃に結果発表予定

○ 事務所開設・引っ越し

活動を円滑に進めることを目的として年度当初に事務所を開設した。また、今後の活動拡大と地域再生可能エネルギー普及事業実施(成功例創出&波及プロジェクト関係)を見据えて、年度末に引っ越しを行った。

2012年4月: SO@R 内に事務所開設

2013年2月: 第7ウエノヤビル内に事務所引っ越し(正式入居は3/1から)

(現所在地) 〒730-0802

広島市中区本川町 2-6-11 第7ウエノヤビル 6階

(ビジネススクエア内)

【文責: 事務局長 大西 康史】